

公表 所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	ブルーミング・コフレ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年 1月10日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援を利用後、放課後等デイサービス→法人内の成人の福祉サービスにつなげていくことができ、顔見知りの職員・利用者ができる。	放課後等デイサービスの児童や、法人内の職員と活動を行ったり、顔見知りになったりすることにより、これから先も〇〇さん！と声をかけてもらえたり、何かあったとき助けてもらえることができる。	引き続き、放課後等デイサービスの児童や法人の職員・また地域の方々にも出会える機会を増やしていく。
2	事業所内だけではなく、状況によって法人にある空きスペース、グラウンド近くにある地域の公園等を活用することができる。	・そのときの児童の状況によって、屋外で気分転換を行ったり、少しでも落ち着けられる環境に移動してもらうことができる。	引き続き、児童たちが落ち着ける環境や場所を見つけいき、少しでも穏やかに過ごしていただけるように心がける。
3	できるだけ、児童の送りの際、保護者とお話できる時間を設けている。	・児童の送りの際、短時間ではあるが、保護者とお話する時間を設けている。 ・できていなかった面だけではなく、できたことなどを伝えられるようにしている。	・支援の工夫によって、児童のできることを増やしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー面で玄関・避難口の段差が解消できていない。	玄関の段差、避難口の解消ができていない。	・現段階で解消できそうな設備等を検討していく。
2	休日の活動において、一日の日課の流れが児童に分かりやすく提示できていない。	一日の流れを口頭だけで伝えており、視覚的な伝達が行えていない。	・「時計」「時間」「スケジュール」を視覚的にわかりやすく提示していく。
3	個別支援計画の内容、マニュアル等、パート職員アルバイト職員まで伝えられていないことがある。	出勤時間・出勤日数等の都合もあり、全員同じタイミングで説明等できていない部分もある。(特にアルバイト職員に対して説明が行えていない。)	・出勤日に合わせて説明を行える時間を設けていく。